

しかおい議会だより

第160号

- 令和4年度全会計の決算を認定 ②
- 数字で見る まちの主な財政健全指標 ④
- クローズアップ 2022 決算・事業 ⑤
- The 決算・質疑 ⑥
- 9月定例議会 ⑨
- 町政を問う・一般質問 ⑪
- 第三者審議会 ⑬

「愉しみ」

撮影者 鹿追高校写真部1年
りおな
山口 莉央奈 さん

■2023（令和5）年10月25日発行
【E-mail】gikai@town.shikaoi.lg.jp
【URL】<https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■発行者 北海道鹿追町議会

2023年10月

令和4年度 全会計の決算を認定

一般会計[※]実質収支5億9735万円

令和4年度一般会計決算総額は、歳入82億539万円(前年度比2.9%減)、歳出75億9892万円(前年度比3.7%減)となった。

いずれも新型コロナウイルス感染症関連事業終了により大幅に減少したが、歳入から歳出を差し引いた形式収支は6億646万円で、令和3年度決算と比較して4651万円増となった。

※ 実質収支：上記形式収支から翌年度に繰り越す事業費を差し引いたもの。
※ 1万円未満切り捨て。

決算審査

令和4年度各会計決算について、9月22日に決算審査特別委員会(清水浩徳委員長)で審査し、各会計とも適正な運用であったと認めた。

一般会計では、地方交付税が31億7261万円(前年度比0.4%増)、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を含む国庫支出金は7億7795万円(同25.6%減)となった。

自主財源である町税は、9億2665万円(同8.4%増)、ふるさと納税寄付金は、企業版も含め9801万円(同8.5%増)となった。

一般会計及び特別会計、全会計の合計では、歳入が100億9748万円(前年度比3.1%減)、歳出は94億6094万円(同3.8%減)となった。

一般会計の残額 (歳入と歳出の差額)
6億646万円
↓
基金へ積み立て
3億円
↓
令和5年度へ繰越
3億646万円

令和4年度決算監査報告

※ 経常収支比率が上昇 持続可能な財政運営を

○ 一般会計及び特別会計決算

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症関連事業の減少もあり、全会計決算額は前年度と比較して歳入歳出ともに減少した。

全会計の歳入状況は、自主財源45.0%、依存財源55.0%で、自主財源が前年度比2.5ポイント増となった。

財政指標では、経常収支比率が81.7%で、財政硬直化が見受けられる。各財政指標の状況を注視し、財政健全化に努めなければならない。

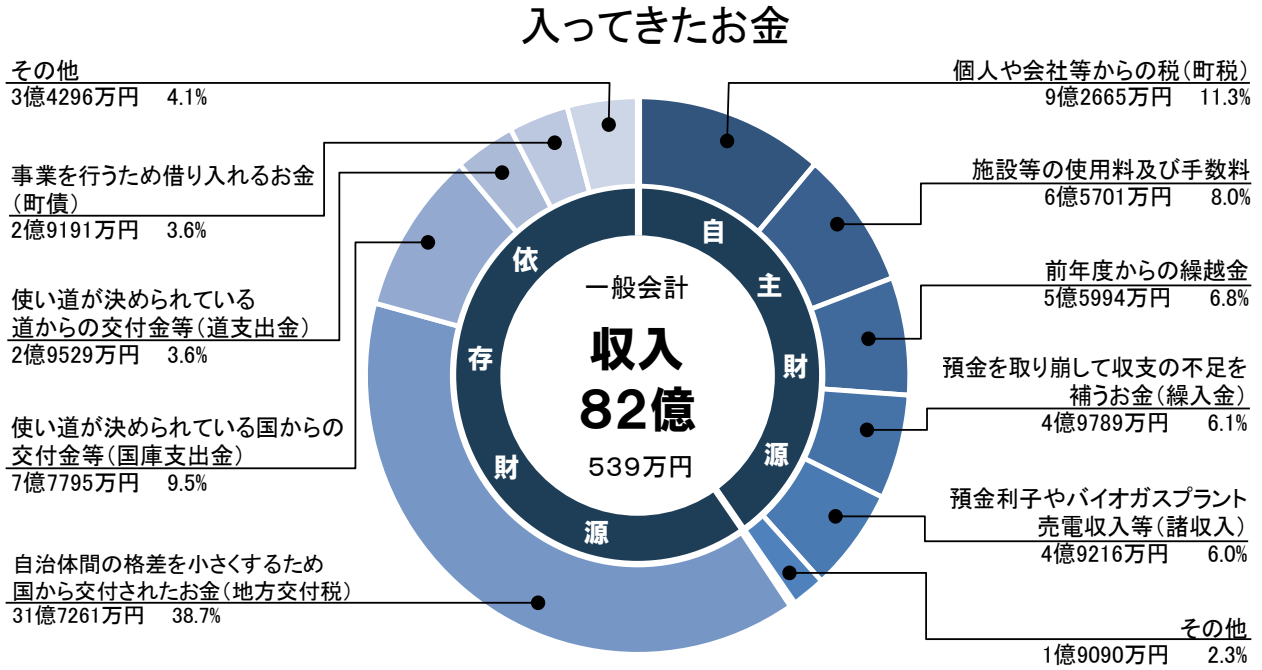
○ 病院事業会計決算

医業収益は令和3年度決算より563万円減、医業費用も269万円減となった。医業外収益の他会計補助金(国の補助金等)が1357万円減となり、

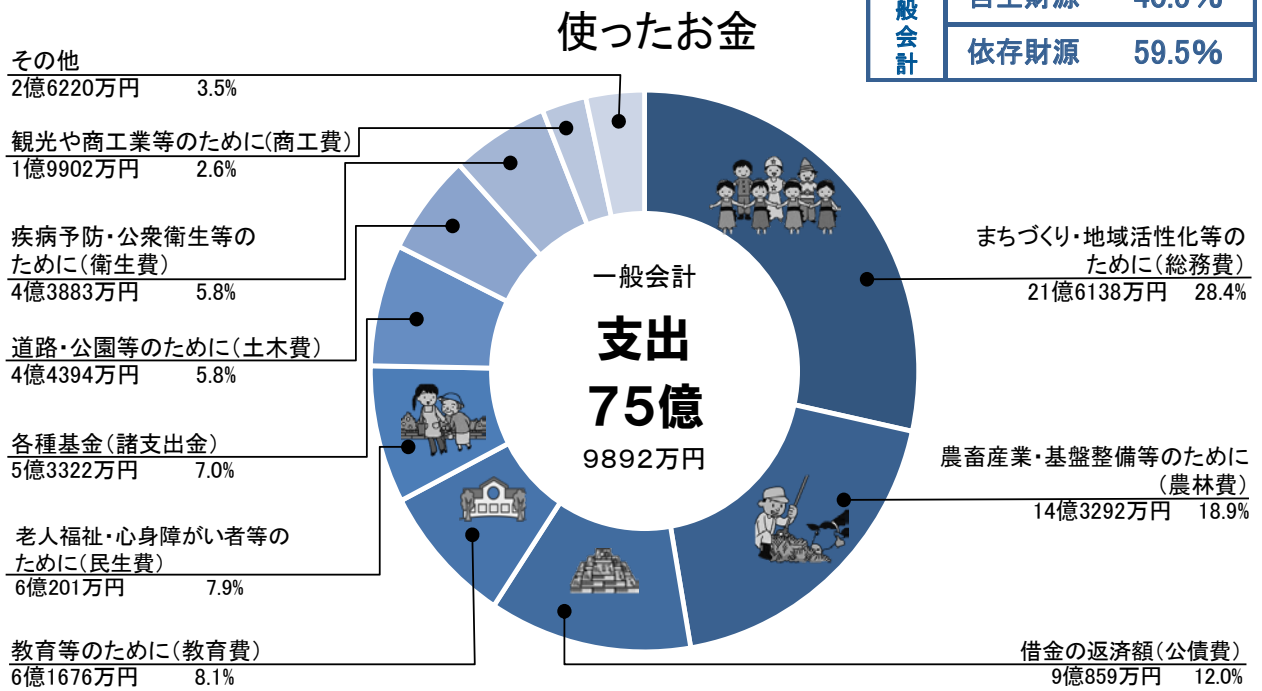


野村 英雄 代表監査委員

一般会計 決算額



一般会計	自主財源	40.5%
	依存財源	59.5%



※ 1万円未満切り捨て。
 ※ 各科目毎の金額及び%の合計は、合計額及び 100%と一致しない。

会計区分		歳入 (万円)	歳出 (万円)	残額 (万円)
一般会計		82億 539	75億 9892	6億 646
特別会計	国民健康保険	7億 5194	7億 5167	26
	簡易水道	2億 1485	2億 1140	345
	下水道	2億 7886	2億 7421	465
	介護保険	5億 4981	5億 2819	2162
	後期高齢者医療	9660	9653	7
合計		100億 9748	94億 6094	6億 3653



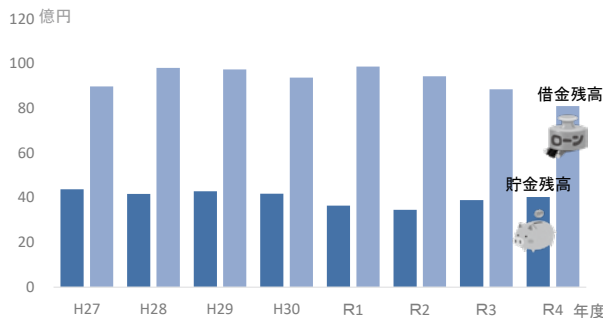
数字で見る まちの主な財政指標

これらの数値から、鹿追町の財政状況が見えてきます。

貯金と借金

貯金（基金等）は主に減債基金、環境保全センター基金、ふるさと寄付金基金の増加により、令和3年度より1億4022万円増加しています。

借金（地方債）は主に過疎対策事業、緊急防災・減債事業、臨時財政対策債の償還により、令和3年度より7億4687万円減少しています。



■まちの貯金（基金等） ※全会計の額

40億3050万円 (R5.3 未現在)

(R4.3 末より1億4022万円増)

町民1人当たり

79万3407円 (人口5080人)



■まちの借金（地方債残高） ※全会計の額

81億290万円 (R5.3 未現在)

(R4.3 末より7億4687万円減)

町民1人当たり

159万5059円 (人口5080人)



主要2基金（減債・財政調整基金）

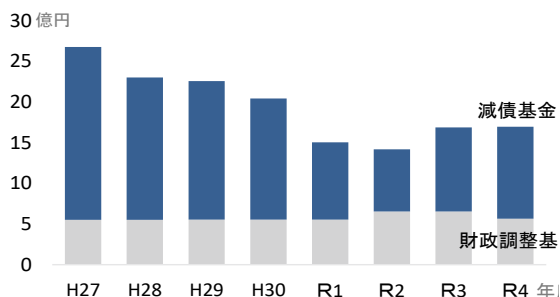
減債基金残高 (R5.3 未現在) **11億3376万円**

(R4.3 末より1億10万円増)

財政調整基金残高 (R5.3 未現在) **5億6520万円**

(R4.3 末より8980万円減)

減債基金は、借金返済（公債費）を計画的に行うために積み立てる基金。財政調整基金は、年度間の財政の変動に備えて積み立てる基金。余裕がある年度に積み立て、災害等の理由で不足が生じた年度に活用します。

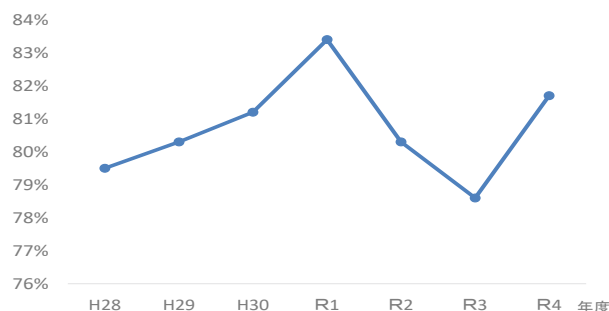


弾力性（経常収支比率）

81.7% (前年度比3.1ポイント増)

人件費や借金返済（公債費）等、固定的に支払う経費（経常的経費）に、町税や普通地方交付税等の収入（経常的収入）がどれだけ使われたのかを示します。

数値が低いほど新たな行政サービス（政策的経費）に投資でき、弾力性があるといえます。



借金全体（3カ年平均の実質公債費比率）

9.3%

(前年度比
0.3ポイント減)

一般会計等の借金返済（公債費）等を、標準的収入で割った比率です。18%以上は借金（起債）をするときに北海道の許可が必要となり、25%以上は一部を除いて借金が不許可となります。

財政力（3カ年平均の財政力指数）

25.5%

(前年度比
0.7ポイント減)

財政力を示す指標で、数値が高いほど町税等の自主財源が多いことを示します。

100%との差額分は、国からのお金（普通地方交付税）で賄われます。

水素燃料電池自動車公用車両導入

2283 万円

町公用車として水素燃料電池自動車（FCEV 車）10 台を導入した。また、5月29日に「しかおい水素ファーム」開所セレモニーが開かれた。この施設は環境保全センターに併設し、民間会社がバイオガスから水素を製造し、販売している。



しかおい水素ファーム開所セレモニー 導入した公用車（R4.5.29）

観光需要回復支援事業

2087 万円

コロナ禍で影響を受けている事業者への経済対策として、観光協会へ補助を行なった。店食べ応援等、飲食・宿泊・体験・交通等の事業者支援に活用された。

鹿追小学校・鹿追中学校エアコン設置

6309 万円

鹿追小学校と鹿追中学校のエアコン設置及び電源改修を行なった。



鹿追中学校 校内環境が改善された

役場周辺 ZEC 化改修等検討委託業務

3208 万円

町民ホール等、役場周辺公共施設の ZEB・ZEC 化（エネルギーの自給自足）改修のため、予算根拠等の調査検討業務を行なった。事業期間は令和4年度から令和6年度まで。

クローズアップ2022
決算・事業

キャッシュレス決済導入事業

574 万円

戸籍年金窓口及び神田日勝記念美術館での料金支払いにキャッシュレス決済を導入した。クレジットカード・電子マネー・QRコードでの支払いが可能となった。



キャッシュレス決済端末（戸籍年金窓口）

農業用資材等価格高騰対応
助成事業

4891 万円

コロナ禍による需要の減少や資材の高騰、供給の制約で影響を受ける農畜産業者に対し支援を行なった。

脱炭素先行地域事業執行事務委託

2978 万円

4月26日、鹿追町が国から「脱炭素先行地域」に選定された。脱炭素関係事業を円滑に進めるため、事務執行のサポート業務を行う。事業期間は令和4年度から令和12年度まで。



町民ホール 自営線ネットワーク内の公共施設改修を検討



算・質 疑

会（清水浩徳委員長）で、令和4年度の決算を

総務費

ライディングパーク体験乗馬 外国人観光客の利用は

Q 体験乗馬は総数で2400人程度が利用しているが、外国人観光客の人数は。

A 集計数値はないが、増えており、年間100人程度利用している。



外国人観光客が増えるライディングパーク

総務費

職員研修を受けやすくしては

Q 職員研修費の予算残額が多いが、その要因は。研修を受けられる体制づくりは。



職員研修に出席しやすい環境づくりを

A 新型コロナウイルスが収まりつつあったが、リモート開催や中止になった研修もあった。研修への出席は、本人希望と指名の両方で行なっている。

総務費

公用車の車検管理は どのように行なっているか



車検は一括管理で無車検防止

Q 他町で車検切れの公用車を使用したケースがあったが、車検管理はどのように行なっているか。

A 総務課財政係の契約財産管理担当で一括管理して車検切れにならないよう努めている。

衛生費

エキノコックス駆除事業の 状況周知を

Q 平成28年度から事業をはじめ、令和4年度は感染源が確認されていない。

感染に不安を感じている観光客や町民に周知しているか。

A 周知はしていない。今後ホームページ等で周知していく。



成果が出ているエキノコックス駆除

総務費

ジオパーク入館者増の要因は

Q ビジターセンターの一般来館者が2145人で、令和3年度から500人ほど増えているが、どう分析しているか。



来館者が増えているビジターセンター

A 新型コロナウイルス拡大の影響で、令和3年度は69日間臨時休館した。令和4年度の休館は5日間のみで、来館者の大幅増につながった。

総務費

台東区・墨田区との交流事業は



たいとう・すみだ十勝ウィーク

Q 台東区・墨田区との交流事業でモニタリングツアーの受け入れを行なっているが、内容は。今後どう生かされるか。

A モニタリングツアーはアウトドアと収穫祭での交流を行なった。本年度もふるさと交流ショップへの出店や子どもの交流等を継続していく。

The 決

9月22日に開催された決算審査特別委員
審査、全て原案どおり全員賛成で認定した。

農林費

瓜幕余剰熱利用ハウスでの障がい者就労について

Q ハウスの作業は、今後就労継続支援B型に移行するが、葉物野菜の販売もそのまま引き継ぐのか。

A 現段階ではレタスを栽培、販売し、収入を見込んでいるためしっかり進めていきたい。



瓜幕余剰熱利用ハウス
今後就労支援B型で作業予定

農林費

家畜伝染病予防に行政指導が必要では

Q 予防のためワクチン接種や支援を行なっているが、自己防衛が一番大事である。

そのために行政指導が必要であると思うが。



家畜伝染病予防の徹底を

A 全ての関係機関で組織している自衛防疫組合と、地域の酪農振興会等とでコミュニケーションを取りながら、情報提供等必要な対応をしていく。

衛生費

患者輸送バスの小型化は



患者輸送バスの小型化を検討

Q 利用者が少ないが、年間で利用者がゼロの日は何日あるか。大型車両を使っているが、小型車両でも対応できると思うが。

A 利用者がゼロの日は146日運行して79日あった。車両の小型化は、入れ替えの時期に検討したい。

商工費

地域活性化起業人制度による観光課題の掘り起こしは

Q 制度による人材派遣で、観光課題をどのように捉え、対策をしたのか。

A 首都圏の飲食店から、経費削減のため町内での調理の下処理を要望されたため事業者と検討した。また、農芸公園の活用、ビジネス目的の宿泊施設の整備等について検討した。



農芸公園の活用方法を検討

商工費

ふるさと納税はもっと増やせるのでは

Q 寄付金額が9192万円だったが、目標額は。納税額はもっと増やせると思う。寄付者の年齢別の分析はしているか。



返礼品の例（ソーセージ&ジンギスカン）

A 目標額は1億3000万円。寄付者は住所しか確認できず、年齢別の分析はできていない。町内事業者の商品を広めるためにも引き続き努力したい。

農林費

水素事業の実績と進捗状況は



しかおい水素ファーム

Q 水素の供給販売実績は。産業用水素としての販売も計画しているが、進捗状況は。

A 町内に官民合わせて20台の水素燃料電池自動車（FCEV）が導入され水素が活用されている。産業用としては、電気基盤や半導体を作る上で必要な水素ガスであり、合弁会社が各方面に営業している。



教育費

「令和の日本型学校教育」の取り組みとは

Q この取り組みの概要と課題は。

A 子どもたちが自主的に課題に取り組む探究教育・活動。日本型とは、清掃・給食等の生徒指導により人格が形成されると考える。
地域と学校が協働で教育を進めなければならない。

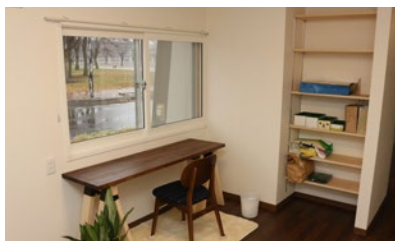


鹿追小学校

教育費

教育支援センター「ひなたぼっこ」の周知を

Q 学校に行きづらい子をケアする場として開設されたが、施設の利用を知らない教職員もいる。周知徹底を。



教育支援センター内部

A 高校を含む各学校に周知しているが、再度周知していく。

土木費

花フェスタの今後は



花でまちを彩る

Q 花フェスタ 2022 は8件の協力で開催された。今後は協力者の減少を考えなければならないのでは。

A 開催当初は 20 数件の協力で開催した。高齢化で減少しており、新規協力者も見つからない状況である。
現状を維持しながら進めていきたい。

教育費

神田日勝記念美術館のPRを

Q NHK 連続テレビ小説で神田日勝役を演じた俳優との関係をもっとPRしては。

A 俳優の名前自体に著作権があり、事務所からの制限もある。音声ガイドの継続交渉等、できる範囲で行なっていきたい。



神田日勝記念美術館 音声ガイド

教育費

新図書館建設検討委員会の答申は

Q 今年3月に答申が出されたが、内容と今後は。



新図書館建設を検討

A 新図書館の基本方針として、居心地が良い・知恵が生まれ学びが育つ・人がつながる、交流が生まれる図書館が挙げられた。さらに調査研究が必要との意見もあり、議論を深めていく。

教育費

教職員の町内居住率は



緑町の教員住宅

Q 教員住宅の入居率と、教職員の町内居住率は。

A 教員住宅の入居率は約 60%、教職員と事務職員の町内居住率は約 35%である。

農業者・中小企業者物価高騰対策 支援金給付事業他予算を可決

9月定例議会が9月12日から25日までの14日間で開催された。条例改正2件、補正予算7件、決算認定7件、意見書5件他を原案どおり可決した。

一般会計の予算総額は、2億2800万円を増額し、77億4345万円とした。

議決事項

条例改正

○鹿追町立地域保育所設置条例

上幌内保育所の閉所に伴い、条例から削除する。

施行は令和6年4月1日。

○鹿追町立学校設置条例

上幌内小学校の閉校に伴い、条例から削除する。

施行は令和7年4月1日。

主な補正予算

○庁舎エアコン整備実施設計業務委託料 800万円

役場庁舎にエアコンを設置するための調査を行う。



北方型住宅ZEROの概要資料
(北海道ホームページより)

○住まいのゼロカーボン化推進事業補助金 595万円

断熱性能等の高性能住宅新築、省エネ設備導入・改修等に対して補助を行う。

補助対象は、北方型住宅ZEB ROの新築、既存住宅の省エネ改修、蓄電池購入で、令和5年10月1日以降に契約したものの補助金は商品券で交付する。北海道の補助金を活用する。

○母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備事業 2248万円

こども家庭センターをトリムセンター内に設置するため改修し、相談支援を行う。

工期は令和5年11月から令和6年3月末を予定。センター開設は令和6年4月1日。国の補助金を活用する。



トリムセンター
段差等を改修して支援体制を整える

○中小企業者物価高騰対策支援金事業 1350万円

原材料や資材等の物価高騰対策のため支援を行い、事業者の負担軽減を図る。

対象者は要綱による法人及び個人事業者で、支援金は法人10万円、個人5万円。国の補助金を活用する。

○町内で食べよう！飲食店応援事業 500万円

観光客が少なくなる期間に飲食店への誘客キャンペーンを実施し、観光振興につなげる。実施日は11月の金・土・日曜日及び祝日とその前日。一人当たり1000円以上の飲食代に對し500円割引する。観光協会への補助事業として実施する。



外食の機会を増やして飲食店を支援する

○役場周辺エリアZEB化改修公募に係る改修後の運営方式検討業務委託料 676万円

役場周辺公共施設のゼロエネルギー化及び施設の保守管理について検討を行う。

○鹿追高校全国募集に係る居住環境整備事業 3800万円

鹿追高校の全国募集に伴い、生徒を受け入れる居住環境を整備する。

緑町の教員住宅を改修し、生徒用として12部屋、食事・共有スペース、ハウスマスターの居室等必要な改修を行う。供用開始は令和6年4月を予定。



教員住宅を改修しシェアハウス型の寮を整備



つぶやき

■爽りの秋です。先日、静岡県掛川市の福祉施策等の視察に行ってきました。こちらも爽りのある研修となりました。

○(仮称)鹿追芸術祭事業

200万円

映画「おしゃべりな写真館」完成披露上映会に合わせ、映画出演者による和太鼓等の公演や交流会を行う。

開催は、令和5年12月16日。

○鹿追7号線他町道舗装修繕

800万円

○上幌内0号線他取付道路補修工事

350万円

○瓜幕28号線舗装補修工事

30万円

○公営住宅・町営住宅修繕

600万円

〔下水道特別会計〕

○鹿追町浄化センター汚泥脱水機修繕

1518万円

請願・意見書

○肥料、燃油などの生産資材等
高騰対策の強化を求める請願・意見書

鹿追町農民団体連絡協議会(武藤敦則会長)からの請願を採択し、国に意見書を提出した。
肥料・燃油等の価格高騰対策の継続・強化を要望する。

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

森林整備・治山事業予算の確保、優良種苗の安定供給、ICTを活用したスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化等について国へ要望する。

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、また、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」を計画的に進めるために、新たな財源の創設及び予算を確保すること等、国へ要望する。

○選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書

多様性を認める社会、基本的人権の尊重等の観点から、適切な法的選択肢を用意することは国の責務である。

選択的夫婦別姓制度に係る議論を積極的に行うことを国へ要望する。

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

教職員給与の一部を負担する義務教育費国庫負担制度を堅持し、1/3に変更された国の負担率を1/2に復元すること、就学援助制度及び奨学金制度のさらなる拡大や、高校授業料無償化に対する所得制限撤廃等を国へ要望する。

規約改正

○北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更

後志広域連合が加入するにあたり、規約を変更する。

主な質疑

〔行政報告〕

(清水議員)

Q 8月8日、陸上自衛隊第一空挺団長が来町し意見交換を行なったが内容は。

A ここ数年空挺団の降下訓練が鹿追町で実施されていないことから、再開を要望した。

検討すると返答をいただきたい。

〔一般会計補正予算〕

(清水議員)

Q 高齢者補聴器購入助成金の状況は。

A 4月までに3人分9万円を支出した。

8月に2人から申請があり、今後3人を見込んでおり、5人分15万円を補正する。

(山口議員)

Q 町内で撮影された映画「おしゃべりな写真館」を観光資源として活用しては。

ロケ地マップ作成、ツアーの実施、パネル展示等の計画は。

A 研究し、できるものから取り組んでいきたい。



おしゃべりな写真館ロケセット

(黒井議員)

Q 然別湖付近の国有林内に門扉を設置するが、町が工事費を負担する理由は。

A 4月から8月末までのジオパークビジターセンター入館者数は。

A 北海道石を町の文化財として指定するため、森林管理関係機関から門扉設置の指示があったことから町で負担する。
入館者数は5213人。



全国公開の前に町で完成披露上映会を開催

○バイオガスパラント発電機・箱形発酵槽修繕 1584万円
環境保全センターの発電機の運転時間が2万5000時間となることから、分解・点検を実施する。
また、箱形発酵槽1基のパドル等の修繕を行う。

町政を問う。

9月21日、3人の議員が登壇し、一般質問を行なった。

農業支援

Q 農業者への支援策は

A 関係機関と連携して対応



狩野 正雄 議員

(質問) 本町の基幹産業である農業を取り巻く状況は、国際情勢の影響により肥料代等が高騰し、負担が増えている。また、サルモネラ症が発生し、各酪農家は病気の拡大防止対策にあたっている。
 国・道、そして本町の関係機関はどのような支援策を行なっているのか。

(質問) サルモネラ症に対する関係機関の連携、情報共有は。

(答弁) 喜井町長 サルモネラ症が発生した場合、町等関係機関で組織する家畜伝染病自衛防疫組合で検査、牛舎の洗浄・消毒を行い、清浄化が確認されるまで作業を繰り返す。発生後の対策と情報の共有は徹底されている。

(質問) 鳥インフルエンザ等を含め、近隣住民や旅行者が注意すべき点は。

(答弁) 喜井町長 病原菌を広げないためには、畜舎や畑に立ち入らない、衰弱・死亡した野鳥に直接触れない等が感染予防の基本であり、有効な手段である。
 今後もSNSや広報紙を活用して周知徹底し、感染予防に努めていく。

福祉重層的支援の効果は

A 多機関連携により支援を推進



佐々木 康人 議員

(質問) 鹿追町では福祉の重層的な支援を実施するにあたり、令和3年4月から福祉・介護・住宅・生活・教育等の担当者を福祉重層的支援担当として、体制整備をいち早く実施してきた。この横断的な体制から2年以上経過した今、その進捗よく状況及び効果は。
 また、相談支援包括化推進員の配置や多機関との連携の現在の状況は。

(答弁) 喜井町長 福祉重層的支援担当は令和3年度から毎月1回の定例会を開催し、情報を共有しながら、対応と検討を重ねている。
 複数の担当課が関わることにより、互いの専門的な立場を生かした協力ができるようになり効果が出ている。
 庁内の連携と併せ、社会福祉協議会の機能や支援体制の強化を図り、各制度のはざまにいる方が抱える課題に対して、協働により最終に導いたケースなどもある。
 支援困難事例を受ける窓口としての相談支援包括化推進員は町3人、社会福祉協議会2人による5人体制。多機関連携については、事例等に対し

(質問) 官民協働で役割分担した体制作りが進むと、鹿追型の重層整備体制事業が出来上がると考えが。

(答弁) 喜井町長 行政が介入するとさまざまな問題が出る事例もある。役割分担をしながら町・民間・地域住民との協働の体制を構築をしていきたい。



多機関で重層支援を行う



酪農

Q 家畜伝染病（牛サルモネラ症）に支援を

A 新たに生菌製剤を支援する



山口 優子 議員

（質問）

現在、町内牧場で牛サルモネラ症の発生が複数件ある。サルモネラ症は、保菌牛の導入や野生動物、車両等を介しての感染が要因とされているが、特定されていない。発生すると清浄化するまで数カ月かかることが多く、牛の移動制限や出荷制限、陽性牛の淘汰を行わなければならない。陰性の牛も自主的に淘汰する場合もあり、牧場主には多大な経済的損失と、消毒・検査等肉体的・精神的な負担がかかる。町内における牛サルモネラ症の発生状況と牛舎の消毒作業にかかった日数と延べ人数は。

過去5年間の発生状況は、平成30年度は3戸、令和元年度は5戸、令和2年度は6戸、令和3年度は6戸、令和4年度11戸、令和5年度は現在18戸。牛舎の消毒にかかった日数と延べ人数は、検査は5人編成で2セツト、洗浄消毒作業は町職員と農協職員の7名編成で対応している。今年度は9月8日現在、検査で94回、洗浄消毒は53回実施しており、延べ人数は1311人である。

（答弁）喜井町長

補償対象は陽性牛だけであり、自主淘汰は対象外である。今、酪農家は牛乳が絞れず、国から生産抑制がされており、経費がかかったからといって、売り上げを上げるのができない。この状況での支援は。

（質問）

自衛防疫組合は、町・農協・生産者で3分の1ずつ積み立てをして補填しているが、仮に増額すると、それぞれの負担の問題も出てくるが、話し合いは続けたい。新たに子牛の体力、免疫力を向上させる生菌製剤を支援したい。

（答弁）喜井町長

また、住居にエアコンがついていない町民の熱中症対策として、町民が暑さから逃れるため、図書館等の公共施設にもエアコンを設置し、クールスポットを提供するべきでは。また、暑い中、長そで長ズボンのジャージ姿で屋外で体育の授業を受けている子どもたちがかなりいる。子供たちに熱中症予防の教育をして正しい知識を持ってもらうことが大事である。今後始業式を繰り下げ、本州のように9月からにする等の検討は。

Q 役場・図書館・高校等にもエアコン設置を

A 役場は令和6年度に設置予定

熱中症対策

山口 優子 議員

（質問）

ここ数年、毎年の猛暑に見舞われ、北海道においてもエアコンはライフラインとなった。役場庁舎は望ましい労働環境とは言えず、指定避難所でもあるため、早急に対策をするべきである。鹿追高校は、保健室とパソコン教室にしかエアコンがついておらず、必要性が高い。

（質問）

また、暑い中、長そで長ズボンのジャージ姿で屋外で体育の授業を受けている子どもたちがかなりいる。子供たちに熱中症予防の教育をして正しい知識を持ってもらうことが大事である。今後始業式を繰り下げ、本州のように9月からにする等の検討は。

（答弁）喜井町長

町では全ての小・中学校、認定こども園、地域保育所等に整備済で、優先度等から計画的に整備を進めてきた。庁舎は防災拠点であり、指定避難所としての環境整備と、町民の利便性向上、職員の執務環境改善のため、令和6年度予算に計上したい。図書館は、一部には設置済みだが、必要であると考えている。鹿追高校への設置は、電源自体の改修が大規模になり、設置後の電気料等の維持費もかかるため、北海道教育委員会へのエアコン設置の要望を上げていく。

（答弁）天野学校教育課主幹

保護者とも協力しながら、安全第一の指導を改めて各学校と協議していきたい。学校管理規則で夏休み・冬休み合わせて50日以内と決まっております。高入試との関係もあるため、始業式の繰り下げは検討していない。



牛サルモネラ症発症農家に支援を

第7期

議会議員定数・報酬及びあり方等審議会（第三者審議会）スタート

令和5年8月8日、鹿追町議会議員定数・報酬及びあり方等審議会（第三者審議会）委員に対し、上嶋和志議長から委嘱状を交付した。

審議委員は、議員の定数・報酬や議会のあり方、政務活動費の執行状況等を審議する。

第7期となる審議委員には、公募者から林正信氏（再）、福井博幸氏（新）、佐藤由紀子氏（新）、

三反崎里香氏（新）、正保縁氏（新）を任命した。任期は令和7年3月31日までとなる。

委嘱状交付後の審議会で役員を選任を行い、会長に林正信氏、会長職務代理者に佐藤由紀子氏が互選された。

意見交換では、2期連続無投票だったことから、議員定数及び報酬について意見が出された。



上嶋議長から各委員に委嘱状が渡された



意見交換会 議員定数等について意見が出された

まちなか会議

議員とカフェでひとこと

開催します

まちや議会に関する疑問や意見、ちょっと気になる話題等気軽にお話しませんか？

令和5年 **11月21日（火）11:00** より

狩野正雄 議員 と 畑久雄 議員が

平成館でお待ちしています！

（予約は不要です）

まちなか会議

議員とカフェでひとこと

開催しました

8月22日、国際交流センター平成館で、議員とカフェでひとことを開催した。

3人が参加し、議員のなり手不足、牛サルモネラ症、肥料・飼料高騰、廃屋処理等について意見が出された。



平成館で参加者と議員が意見交換（R 5.8.22）

今号の表紙

「愉しみ」 りおな
 撮影者：1年生 山口 莉央奈さん
 かしわのもりのイベントで、植物の茎を使ってフェエを作っている様子。



※ 鹿追高校写真部の皆さまのご協力により、議会だよりの表紙写真に掲載しています。



株式会社HBA東京支社
自治体ソリューション本部
広域営業部長 奥村 章さん



庁舎内での会議



地域活性化起業人制度で
業務の効率化を図る

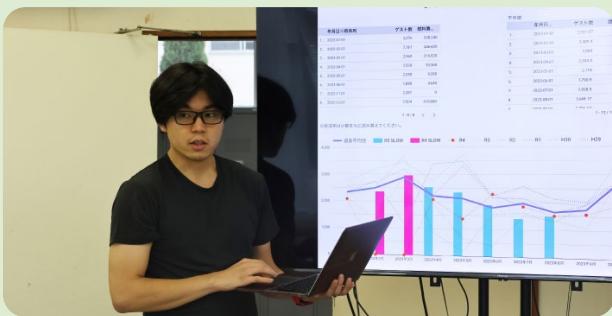
(取材・インタビュー) 黒井敦志

現在は、現状の課題を掘り起こすため、役場各課にアンケートやヒアリングを実施して分析しています。庁舎内や町内のICT課題の解決を図るための方向性を検討し、住民の利便性向上や業務の効率化を図る提案をしたいと思っています。

国の地域活性化起業人制度を活用し、7月から来年3月までの9カ月間、株式会社HBA東京支社から奥村章さんに来ていただいています。この制度は、都市圏の民間企業等から社員を受け入れ、知見を生かしながら地域活性化を図る取り組みです。奥村さんには、本町におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)推進の方向性を定め、住民の利便性向上につながるよう、課題解決に取り組んでいただいています。



株式会社VOREAS
安久津 怜生さん



燃費改善効果の分析結果について説明

脱炭素・地方創生の実現に向け
地域おこし協力隊として来町

(取材・インタビュー) 青砥敏一

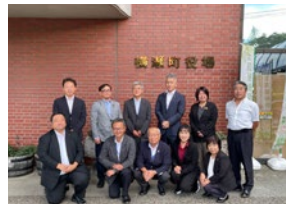
地域おこし協力隊として企画課ICT・エネルギー担当になりました。鹿追町の脱炭素に関する補助金の受付、蓄積されたデータの分析・対策検討や脱炭素に関わる取り組みの提案等を担当しています。持てる知識を総動員して、本町の脱炭素の推進にお力添えできれば幸いです。

今年8月に地域おこし協力隊として安久津怜生さんが着任しました。町は、脱炭素を核とした地方創生の実現に向け、株式会社VOREAS(旭川市)と連携協定を結んでおり、同社から来ていただいています。現在は、一般住宅や事業者向け省エネ・再エネ機器の導入促進や自営線ネットワークのデータ分析と運用改善等の検証に尽力いただいています。任期は令和8年3月までです。

編集後記

議会広報広聴常任委員会
広報部会

- 部会長 佐々木康人
- 副部会長 山口 優子
- 部会員 青砥 敏一
- 金子 孝伸
- 黒井 敦志



埼玉県横瀬町役場で
横瀬町議会の皆さんと

9月定例議会を終えて、広報部会で研修に行ってきました。東京の日経ホールにて行われた町村議会広報研修会では、全国の町村議員が、広報紙づくりのポイントやデザインを学びました。

また、埼玉県横瀬町に伺い、広報紙についての視察研修を行いました。

横瀬町議会議員の皆さんと意見交換し、有意義な勉強会となりました。

議会広報部会 副部会長 山口 優子